

## 関西外国語大学に対する改善報告書検討結果

<大学評価実施年度：2019年度>

<改善報告書検討実施年度：2023年度>

関西外国語大学から改善報告書の提出を受け、本協会は改善に向けた大学全体の取り組み、6点の改善課題の改善状況について検討を行った。その結果は、以下のとおりである。

### <改善に向けた大学全体の取り組み>

大学評価の結果を踏まえ、全学的に改善に向けて取り組むべく、2020年度に「学校法人関西外国語大学内部質保証推進規程」を策定し、内部質保証推進組織として新たに「大学評価委員会」を理事会のもとに設置し、内部質保証に関わる各組織の権限、役割を明示している。2023年度に「大学評価委員会」のもとに置く「大学自己点検評価委員会」「短期大学部自己点検評価委員会」及びそのもとに設置する部局等名を冠した自己点検・評価委員会（以下「部局等自己点検・評価委員会」という。）において、改善結果の検討を行ったうえで、「大学評価委員会」に報告し、同委員会における審議・検証の後、理事会にて報告している。

この体制のもと大学全体として指摘事項に対する改善に取り組んでいることが認められる。今回の改善報告書において、改善に向けた取り組みの成果が十分ではない点についても、「大学評価委員会」のもと、引き続き改善を図ることが望まれる。

### <是正勧告、改善課題の改善状況>

提言の改善状況から、改善の成果が概ね表れているといえる。

改善課題に関し、博士後期課程における学位授与方針に示した学習成果と測定方法の関係性については、今後もさらなる改善に努めることが求められる。

個別の提言に対する改善に向けた大学の取り組み及びそれに対する評価は、以下のとおりである。

#### 1. 是正勧告

なし

#### 2. 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準2 内部質保証
	提言（全文）	理事会を内部質保証に最終的な責任を負う組織として位置づけ、点検・評価の結果をもとに担当部局に改善・向上に向けた指示を行うとしているもの

関西外国語大学

		<p>の、理事会による改善指示は概形的なものにとどまっております。実質的には「自己点検・評価委員会」が各「専門別自己点検・評価委員会」の自己点検・評価に基づく改善・向上に向けた取組みの推進を行っていることから、理事会及び「自己点検・評価委員会」の権限・役割分担をより明確にし、内部質保証システムを有効に機能させるよう、改善が求められる。</p>
	検討所見	<p>2020年度に「学校法人関西外国語大学内部質保証推進規程」を策定し、内部質保証に係る各組織の権限、役割を明示している。</p> <p>上記規程において、内部質保証推進組織として理事会のもとに新たに「大学評価委員会」を置いている。大学評価委員会委員長の要請を受けて、「大学自己点検・評価委員会」は各部局に年度計画に基づく自己点検・評価の実施を指示し、その結果をとりまとめ、「大学評価委員会」に報告している。「大学評価委員会」はこの報告を受けて、審議・検証し、理事会に報告している。理事長は改善が必要と判断した場合に「大学評価委員会」に改善及び進捗の報告を指示し、これを受けて「大学評価委員会」は、当該部局等に対して改善指示を行い、改善に向けた対応に関する進捗の報告を受けた際には、理事長の指示に基づき改善に取り組んだかを検証し、理事長に報告するとしている。</p> <p>以上のことから、内部質保証に係る各組織の権限・役割分担を明確にしているため、改善が認められる。今後は、整備した体制のもとで内部質保証を着実に機能させていくことが期待される。</p>
<b>No.</b>	<b>種 別</b>	<b>内 容</b>
2	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	外国語学研究科博士前期課程及び博士後期課程では、学位授与方針を授与する学位ごとに設定していないため、改善が求められる。

関西外国語大学

	検討所見	外国語学研究科博士前期課程及び同博士後期課程において、授与する学位ごとに学位授与方針を設定しており、改善が認められる。
<b>No.</b>	<b>種 別</b>	<b>内 容</b>
3	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	外国語学研究科博士前期課程及び博士後期課程では、教育課程の編成・実施方針を授与する学位ごとに設定していないため、改善が求められる。
	検討所見	外国語学研究科博士前期課程及び同博士後期課程において、授与する学位ごとに教育課程の編成・実施方針を設定しているため、改善が認められる。
<b>No.</b>	<b>種 別</b>	<b>内 容</b>
4	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	外国語学研究科博士前期課程及び博士後期課程では、研究指導計画として研究の指導の方法をあらかじめ学生に明示していないため、改善が求められる。
	検討所見	外国語学研究科博士前期課程及び同博士後期課程において、研究指導計画として研究指導の方法を明示した「関西外国語大学大学院における研究指導などにかかる運用方針について」を策定し、履修ガイダンス時に学生に配付していることから、改善が認められる。
<b>No.</b>	<b>種 別</b>	<b>内 容</b>
5	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	外国語学研究科博士前期課程及び博士後期課程では、学位授与方針に示した学習成果と測定方法の関係性が不明瞭で、多角的かつ適切に学位授与方針に示した学習成果を測定しているとはいえなため、改善が求められる。

関西外国語大学

	検討所見	<p>外国語学研究科博士前期課程及び同博士後期課程では、「関西外国語大学における学位論文の評価基準について」を定め、学位授与方針を踏まえて、この評価基準に基づき総合的に評価を行うとしている。また、2023年度から博士前期課程において、「博士前期課程学修成果の評価」を定め、教員の評価及び学生による自己評価の指標を定めている。これに基づき、学習成果の測定を実施し、適切性の点検・評価を行ったうえで、博士後期課程においても評価指標を策定することを予定している。</p> <p>今後は上記の指標と学位授与方針に示す学習成果との連関をより明確にするとともに、博士後期課程においても学習成果を測定する方法を確立するよう、引き続き改善が求められる。</p>
No.	種 別	内 容
6	基準	基準5 学生の受け入れ
	提言（全文）	外国語学研究科博士前期課程において、収容定員に対する在籍学生数比率が0.37と低いため、大学院の定員管理を徹底するよう、改善することが求められる。
	検討所見	収容定員に対する在籍学生数比率について、大学評価時に指摘を行った、外国語学研究科博士前期課程において改善が認められる。

◆ 再度報告を求める事項

なし

以上